

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング

【施策番号 26103: 自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発
(農林水産省)】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 9 日(木) 16:55~17:25
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 共用第 3 特別会議室
- 3 聴取者：相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員
外部専門家 14 名(うち若手 4 名)
- 4 説明者：農林水産省 技術会議事務局 安東 郁男 研究調整官
後藤 明俊 研究専門官

5 施策概要

国産飼料の品種および給与技術の開発を実施することにより、飼料自給率を向上させ、国内における畜産物の安定供給を実現する。

6 質疑応答模様

【相澤議員】

このプロジェクトは今回グリーン・イノベーションの領域で出されているが、グリーン・イノベーションの狙い等は十分に理解しているか？

【農水省】

基本的には、CO2 削減による低炭素社会の構築と理解している。

【相澤議員】

この施策に関わるのところでは、気候変動に対して、十分に耐性のある循環型食料生産という項目を設けているが、食料生産一般についての取り扱いは、「豊かな国民生活」というところに入る。説明を聞いていると、食料自給率の向上を大きな目標に掲げて、食料の安定確保という目標に向かっている。従って、「豊かな国民生活」の趣旨にぴったり合っていると理解できるが、グリーン・イノベーションの中での位置付けということになると、どうなるのか？

【農水省】

狙い自体は、新成長戦略の中の、環境・地域活性化のところに該当する。グリーン・イノベーションの狙いの中に、化学肥料の削減があり、これが広い意味で化石燃料の削減に、間接的には貢献する。食料生産における栽培技術を低コスト化すること、例えば灯油使用量を削減するなどによって、グリーン・イノベーションにも貢献できると考えている。

【外部専門家】

1年目に肉質評価をする予定となっているが、その結果はもう出ているのか？

【農水省】

コメが取れて、給与するのはこれからになるので、まだ結果は出ていない。

【外部専門家】

結果が悪かったら、方向が大きく変わる可能性もあるのか？

【農水省】

これまでに、ブタにコメを与えたときには、トウモロコシよりも脂肪が白く、しまったものになるという知見が得られている。

【外部専門家】

機能性食品の話ではないが、食品の成分まで調べるのか？

【農水省】

食品成分の評価まで行う予定である。

【外部専門家】

輸入トウモロコシを100%飼料米に代替すると書かれているが、コメの反収を考えると目標は遠い、という印象を持つ。5年でそこまでやれる、という具体的な道筋を教えて欲しい。

【農水省】

日本に輸入されているトウモロコシを全部替えよう、ということではない。

【外部専門家】

コストの面？

【農水省】

コストの面と栄養の面がある。トウモロコシをコメに替えても、本当に大丈夫なのか、見極めたいということ。

【外部専門家】

家畜糞尿等を利用して、できるだけ低投入の堆肥を作りたい、ということだが、一方で環境保全型農業を模索していかなければいけないということで、その関係はどうなるのか？

【農水省】

栽培品種にも関係するが、本当はあまり窒素を投入しなくても多収になるような品種、栽培法があればベターである。ただご指摘のように、相当に高い収量性を得ようと思うと、どうしても窒素を多く使用しなければいけない、という方向になるかと思う。その中で、窒素を多く使わなくても済むような方向も考えていきたい。別プロジェクトで、堆肥のこともやっているの、それらの成果を活用していきたい。

【外部専門家】

現在の慣行栽培で1トンを目指す、ということか？

【農水省】

普通の食用のコメを作るレベルのものを慣行栽培というなら、それとは違うもの、違うレベルの設計が必要になる、ということ。

【外部専門家】

高付加価値に関して。人が食べるコメと飼料米とでは中身が違ってしかるべきで、成分育種も必要になると思うが、それもやるのか？

【農水省】

タンパクが高いほうがいいというのはあるかと思うので、それらは育種と栽培技術で対応する。

【白石議員】

輸入トウモロコシを100%飼料米に置き換える、ということはコストを考えているのか？1kg90円では勝負にならない。

【農水省】

輸入トウモロコシは1kg30~40円なので、そのままでは無理。これに対して、補助金政策等と連動させながら、技術で出来るところは極力やっという、というスタンス。当面の目標として、1kg90円を考えている。

【外部専門家】

環境負荷が増えるものと減るものとある。メタンなどは明らかに増える。グリーン・イノベーションの中でやるのであれば、プラス、マイナスの収支を計算して、グリーンと言いながらレス・グリーンだった、ということのないように。

【農水省】

検討します。

【相澤議員】

あくまでグリーン・イノベーションにエントリーするなら、位置付けについて、十分に再構築されて、分かるように。かつ、グリーン・イノベーションの中で有効なプロジェクトである、ということクリアにされるように。

以上